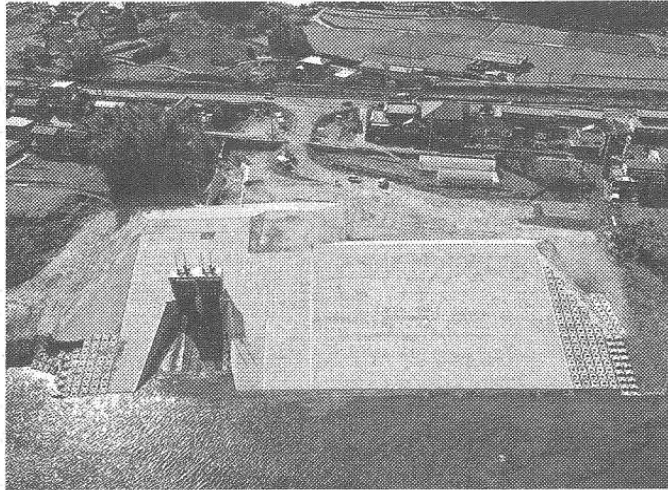


平成30年度加茂第二堤防護岸(その1)工事

井上組



品質確保などの課題解決

この工事は、ICTを活用した河川の築堤盛土を主とした工事である。起工測量においては地上型レーザースキャナーを用いて3次元点群データを取得し、3次元設計・施工へと作業を進めた。施工においてはMG(マシンガイダンス)とMC(マシンコントロール)を使用すること、丁張レスでの施工を実施し、作業効率の向上を図った。施工管理を一貫した3次元データを

活用することで、ヒューマンエラーの防止、精度の向上、生産性の向上も図ったほか、これらすべてを実践することで、業者の休日確保にも役立った。

3次元データを用いた測量機器・建設機械の活用により、さまざまな角度から従来の建設業に対する概念を覆している。近年における建設業の課題である業者の減少、熟練工の作業品質の確保といった問題を解決する材料となるのが、ICT活用工事への取り組みであると確信している。現場代理人 浦岡知範